

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

〈報道関係のみなさま〉

朝日新聞デジタルが漫画「満州アヘンスクワッド」とコラボ

最新 AI と時代考証で歴史写真をカラー化 特集「満州 アヘンでできた"理想郷"」を公開

朝日新聞社は、旧満州国におけるアヘンの歴史を紹介する特集コンテンツ「満州 アヘンでできた理想郷」(https://www.asahi.com/special/manchukuo-opium/)を、7月11日(火)に朝日新聞デジタルで公開しました。「満州国政府がアヘンを専売し、日本軍の資金源にもなっていた」という史実に迫ります。



特集コンテンツに掲載の朝日新聞社所蔵写真 (阿片を吸ふ女=1935 年撮影)



「満州アヘンスクワッド」作者、鹿子さんの 描き下ろしイラスト

■漫画の世界観を入り口に、取材にもとづく近現代史のリアルへ

特集コンテンツでは、人気漫画「満州アヘンスクワッド」(講談社)とコラボ。描き下ろしイラストや漫画のシーンと記事を組み合わせ、最新の歴史研究成果にもとづく満州の史実を分かりやすく伝えます。

■最新 AI と緻密な時代考証で歴史写真をカラー化

朝日新聞社が所蔵する当時の満州のモノクロ写真を、渡邉英徳・東京大学教授らとともに AI でカラー化 しました。歴史研究者らの監修で、当時の街並みや服装を忠実に着色。色彩豊かに蘇った満州の人や 街の写真を多数掲載しています。



朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

■満州アヘンスクワッドとは

週刊ヤングマガジン(講談社)で連載中の漫画作品。原作・門馬司氏漫画・鹿子氏。2023年6月に単行本13巻が発売。単行本の累計発行部数は180万部を超える。(2023年6月現在)

原作・門馬司氏コメント

「満州について深く知りたい、そんな思いでいつもこの漫画を作っています。王道楽士を謳いながら儚く消えていった幻の国には何が込められていたのか、何が眠っていたのか。少しでも興味を持ってもらえたらとても嬉しいです。」

■歴史写真のカラー化について

朝日新聞社所蔵のモノクロ写真の一部を、渡邉英徳・東京大学教授 (情報デザイン)とともにカラー化。時代考証は、貴志俊彦・京都大学 教授(アジア史)、田島奈都子・青梅市立美術館学芸員(デザイン 史、文化史)に依頼しました。カラー化した写真は、特設ページの中 で公開しています。

東京大学・渡邉英徳教授のコメント

「カラー化では AI が着彩したベースの色を活かしつつ、専門家との対話や資料から得た正確な情報を反映させることを心がけました。漫画もカラー化も「過去の記憶の寿命を未来に延ばす」という目的は共通しています。過去に学び、未来に活かす機運をつくりだすきっかけとなることを願っています。」



スローガンが言う「五族」は多くの場合、日本人、漢人、朝鮮人、満州人、モンゴル人を指すが、社会主義のソ連を逃れた白系ロシア人もしばしば合められた。多国籍的な街並みや伝統的な民族行事、最新のモダンカルチャーなど、表向きは多様な文化が花咲いた。



特集コンテンツの一部

■満州とアヘン

日本が戦前や戦中に外地でアヘンを流通させていた問題をめぐっては、近現代史の研究分野でも近年、 単行本の出版が相次いでいます。今回の特集コンテンツでは、最新の研究成果を幅広く取材し、まとめ ています。

ogura-f@asahi.com(小椋)